



海洋教育副読本

たのしくまなぼう!

～にい はま た き はま えん でん新居浜・多喜浜塩田から学ぶ海の大切さ～

学校

年

組

名前



新居大島

Contents

はじめに	P1
1. 海洋を学ぶ	P2
2. 私たちを支える塩	P6
3. 日本の塩づくりの歴史	P8
4. 新居浜市の歴史	P10
5. 多喜浜塩田の歴史	P12
6. 入浜式塩田のしくみ	P13
7. 多喜浜公民館・多喜浜の人々の生活	P15
8. 多喜浜の塩の流通と植生	P16
9. 瀬戸内海の塩田	P18
10. 世界唯一の学校内塩田施設	P20
11. 多喜浜小学校の海洋教育実践事例	P22 ~
海とともに未来へ	P24

映像用教材と一緒に学習できます。
 チャプター番号は のように示してあります。
 画像のリンク先はこちら →



はじめに

私たちの暮らしに欠かせない海はいま深刻な問題を抱えています。その問題を解決するために世界で約束した17の目標のひとつがSDGs14「海の豊かさを守ろう」です。

新居浜には豊かな自然があります。雄大な四国山脈。そこから流れる美しい川。そしておだやかな瀬戸内海。沿岸地帯には工場群があり、四国屈指の臨海工業都市です。

この本では、『海』というテーマにはじまり、新居浜にかつてあった多喜浜塩田の歴史を学ぶことができます。

海の恵みで発展してきたふるさと新居浜の歴史を知り、美しい海や豊かな自然を守るためにいま何をすべきなのかを考え、行動することが、SDGsの実現や未来の新居浜へつながっていきます。

あなたが生活している新居浜はどんな街ですか？
 あなたは新居浜のどんなところが好きですか？

いっしょに考えてみましょう。

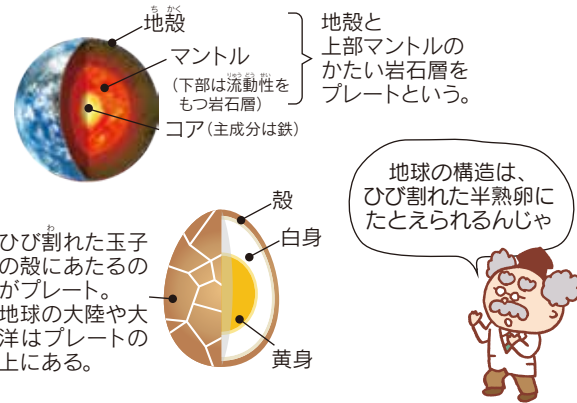
1 海洋を学ぶ

Chapter

1

1 私たちの暮らす地球

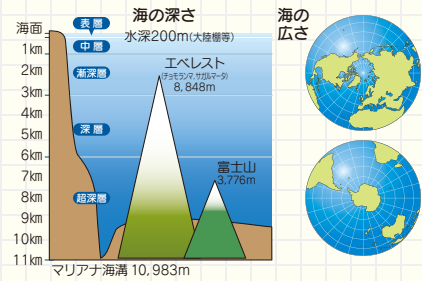
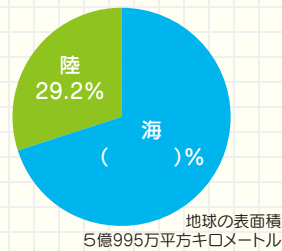
私たちが暮らす地球の構造を知っていますか。大きく3つに分けることができます。例えば、ニワトリの卵を思い浮かべてください。外側の薄い殻が「地殻」と言い、私たちはその上で生活しています。内側の白身は「マントル」、黄身は「核」にあたる部分です。



私たちが暮らす場所にある水や空気は卵で表すと薄い殻の部分です!

地球の表面は岩石からなりますが、そのほとんどは海におおわれています。

1 地球の表面の約 71% は海でできている。



2 世界一深い海は マリアナ海溝 かいこう 海溝 です。

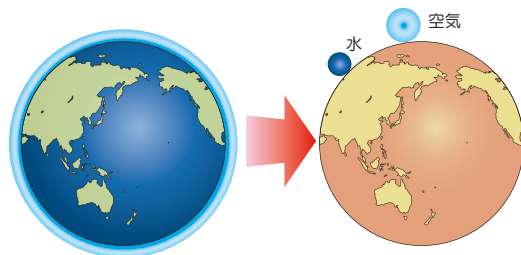
その深さは世界一高いエベレストを入れてみても海面までまだ2000mもあります。

2 地球上にある空気と水について

地球上にある水や空気は たくさんの量が存在します。

水は約14億立方km、空気は5140兆トンです。しかし、地球にあるすべての水と空気を一か所に集めてみると、想像よりもずっと少なく、大変貴重なものということがわかります。

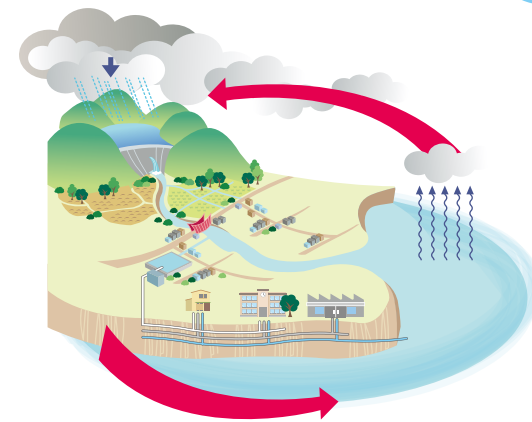
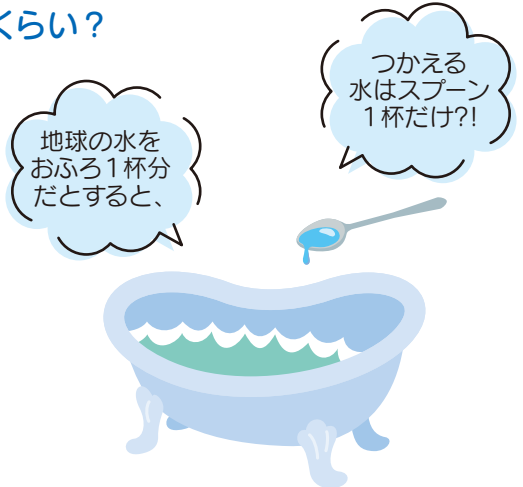
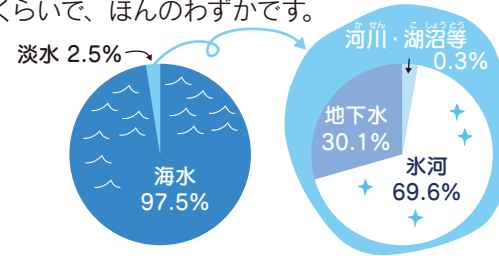
地球の水と空気を一か所に集めるとこうなります!



4.4.12 ㊸ ㊹ ㊺

☆ 私たちが毎日飲むことができる水はどのくらい?

地球上にある水のうち97.5%は「海水」で、人間が利用できる飲み水などの「淡水」は2.5%です。ただ、その2.5%のほとんどが南極や北極地域の氷雪なので、人が生活に使える水の量は地球全体の0.01%くらいで、ほんのわずかです。



3 水の循環について

私たち毎日使う水は主に川の水を利用しています。その水は空から降ってきた水で、雨を降らせるのは海や陸の水が蒸発してできた雨雲です。地球にある水は、昔から循環し、その総量はほとんど変わっていないのです。

☆ 海が引き起こす災害

→ 津波・高潮

時に海は大きな災害を引き起こすこともあります。2011年3月11日に起きた東日本大震災では、津波の被害がありました。台風時には、海面が異常に上昇する「高潮」、10mを超える大きな波が打ち寄せる「高波」が起こることもあります。

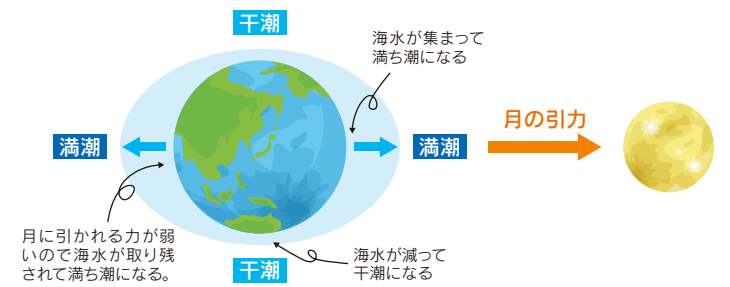


東日本大震災の津波(岩手県)

☆ 潮の満ち引き

潮の満ち引きは、なぜ起こるのでしょうか?

それは、月の引力が海水を引っ張るからです。月に近い海が引き寄せられ、満ち潮に。反対側は引き寄せられる力が弱いので、海水が取り残されて、満ち潮になります。このように地球の両側は引き潮になるわけです。



また、月だけでなく、太陽も引力で海水を引っ張ります。地球と月と太陽が一直線に並ぶと引力が重なり、満ち引きが一番大きくなります。これは新月や満月の時で、これを大潮と呼びます。

4 海洋汚染について

☆ 海の環境問題

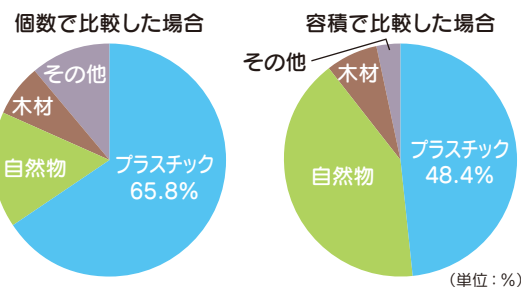
地球温暖化やプラスチックごみによる海洋汚染、魚の乱獲による海洋資源の減少など、私たちの暮らしに欠かせない海の環境問題が深刻化しています。

3 世界の海にあるプラスチックごみの量を
知っていますか

t

4 毎年、海に新たに流れてくる
量を知っていますか

t



(単位：%)

平成28年度、全国10地点(稚内、根室、函館、遊佐、串本、国東、対馬、五島、種子島、奄美)の調査
出典：海洋ごみをめぐる最近の動向(平成30年9月 環境省)

このままでは、2050年までにプラスチックごみの重量が魚の重量を上回ると指摘されています。

2050年までには魚よりも プラスチックごみが多くなる!!

海へ流れたプラスチックごみは自然に分解されず、数百年以上も残ります。これは波や紫外線などによって細くなり、「マイクロプラスチック」という小さな粒子になります。これが海の生物の体内や、海水を飲む飲料水や食塩にふくまれる可能性が指摘されており、生態系への影響が心配されています。



自然豊かな新居浜の海岸や川にもふと見てみるとたくさんのペットボトルやダンボール、ときには大きなごみを目にすることはありませんか。川は海とつながっています。ごみの行きつく先は海ではないでしょうか。調べてみてください。おそらく道路や水路などにポイ捨てされたごみが海に流れているのではないのでしょうか。

ごみを減らし、海と仲良くするために何が必要なのかをみんなで考えてみましょう!



海ごみの様子

(左側) 環境省「海洋ごみをめぐる最近の動向」(平成30年9月)より転載 (右側) 環境省「海洋ごみをめぐる最近の動向」(平成30年9月)より転載

5 人と海との関係

海は私たちが生きていくために重要な役割を担っています。上下左右に水が循環することで、気温や気候が調節されたり、多様な生物が生息したり、すべてが水でつながっていることから、生き物などが移動することもできます。さて、日本の視点で考えてみましょう。

日本の海の領域の広さは世界で第6位、さらに日本人のほぼ半数が沿岸部に住み、輸送量の約4割は海運というまさに世界有数の海洋国家です。

さらに私たちが摂取するたんぱく質の約4割は魚などの水産物が由来しています。

☆ 海はどうやってできたの？ 海水はなぜしょっぱいの？

地球が生まれた約46億年前には、海はまだありませんでした。生まれたばかりの地球は、地表の温度が1500度以上もあり、地面から吹き出る水蒸気や火山ガスに包まれていました。

6億年後、地表が冷えてきて、水蒸気が雨に代わり、低い場所に溜まって海となりました。この雨には塩素がふくまれており、岩の中のナトリウムなどの成分を溶かしていきました。塩素とナトリウム。これは塩の主な成分です。

この2つの成分が出会い、海水はしょっぱくなったのです。

☆ 日本の輸出入について

海に囲まれている日本は、海外への輸出入の99%は海運で行われています。海運で使われる船を作っている「今治造船」という会社が、愛媛県今治市にあります。

人類は海から多大な恩恵を受けて生活している!

日本の漁獲量



海面漁業での漁獲量が多い都道府県

1位	北海道	89万4500t
2位	茨城県	30万1400t
3位	長崎県	22万8100t
4位	静岡県	17万0100t
5位	宮城県	15万2400t

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」(農林水産省)

日本で一番つられてる魚介類

1位	まいわし	70万0500t
2位	さば類	37万6000t
3位	ほたてがい	34万6000t
4位	かつお	16万2500t
5位	すけとうだら	16万0100t

出典：「令和2年漁業・養殖業生産統計」(農林水産省)

日本で一番釣られている魚は?



2 わたしたちを支える塩

Chapter

2

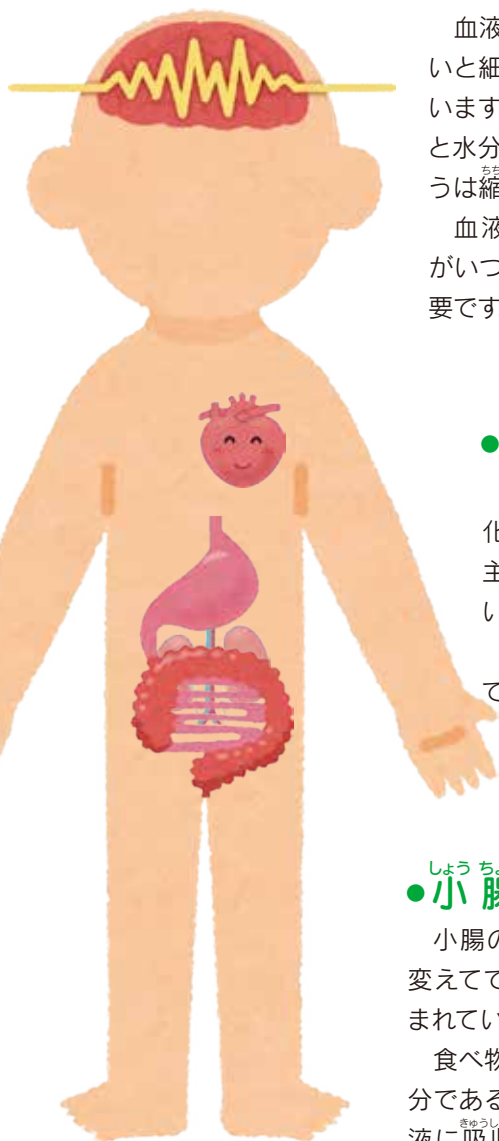
☆人間には塩が必要不可欠!

生き物が生きていくうえで、塩は必要不可欠。では、人間のからだの中では、どこで塩が必要なのだろう？

● 神経

食べ物の味を脳に伝えたり、体を動かす命令を脳から筋肉に伝えたりするのが神経です。

この命令は電気信号で伝えられていて、うまく伝えるには体液の中の塩が必要になります。



● 血液

血液の中に塩が入っていないと細ぼうが破れつしてしまいます。反対に塩が多すぎると水分が吸い出されて、細ぼうは縮んでしまいます。

血液の中にある塩の濃さがいつも同じであることが重要です。

● 胃

胃の中で食べ物を消化するときに働く胃液の主な成分は「塩酸」といいます。

これは塩が姿を変えてできています。

● 小腸

小腸の消化液にも塩が姿を変えてできた「アルカリ」がふくまれています。

食べ物を消化してできる栄養分である「アミノ酸」を小腸で血液に吸収するときにも塩が必要です。

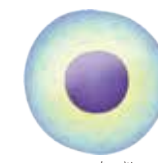
● じん臓

体液をいつも同じ塩の濃さに調整してくれているのがじん臓。

血液をろ過して、いらぬものを水と一しょに体の外へ捨て、必要なものだけを血液にもどす仕事をしています。

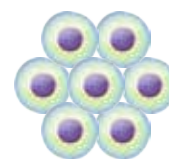
☆なぜ人間は塩が必要になったの？

今から38億年前。海の中から単細胞生物が誕生したと考えられています。細胞は海水がないと生きていけませんでした。



それから28億年後。今から10億年前に、いくつもの細胞が集まってできた多細胞生物が現れます。

しかし細胞が多くなると海水にふれられない細胞も出てきます。そこで、その細胞にも海水をいきわたらせるため、海水の代わりとなる塩水が必要となりました。これが「細胞外体液」。人間でいう血液のことです。



体の中に塩水を持つことで、塩がない陸や川で暮らす生き物が誕生することができたのです。

☆わたしたちの生活の中の塩

生物が誕生する前から地球にあった塩。食べ物としてだけでなく、生活の中でも欠かすことのできないものとなっています。

しおがま 塩釜神社

日本にはたくさんの塩釜神社があります。塩土老翁という塩づくりの神様がまつられており、人々に塩づくりや漁業を教えてくれたといわれています。



湊神社(新居浜市多喜浜)

quiz 5

この中で塩が使われているのはどれ？

パン ・ せっけん ・ 水道水 ・ 牛のエサ

実はこの中のすべてに塩が使われています。塩は、わたしたちの暮らしに、さまざまな形で関わっています。

memo

3 日本の塩づくりの歴史

Chapter

3

☆世界各地にある塩

地球上には、塩湖、岩塩、天日塩など、さまざまな塩が存在しています。どこにどんな塩があるか、世界地図で見てみましょう。



塩湖

塩湖は、陸に閉じこめられた海水が岩塩にかわるとちゅうの姿と言われていて、農業に適さないような過こくなかんそう地にあります。

岩塩

岩塩は、地かく変動などで海水が陸に閉じこめられてできたものです。いわば数億年前～数百年前の「海水の化石」のようなものです。

天日塩

海水から作られる塩を海塩といい、そのうち太陽の光で蒸発させる塩を天日塩といいます。世界で作られる海塩のほとんどは、かんそうした気候をつかって作られる天日塩です。

6

どこの地域で一番塩がとれるでしょうか？

(世界の塩の生産量…塩事業センター公式HP)

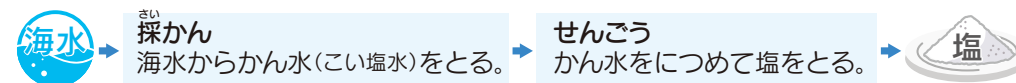
順位	国	生産量 (千t)
1位	中国	62,708
2位	アメリカ	42,000
3位	インド	30,000
4位	ドイツ	18,277
5位	オーストラリア	12,489

国中 多量

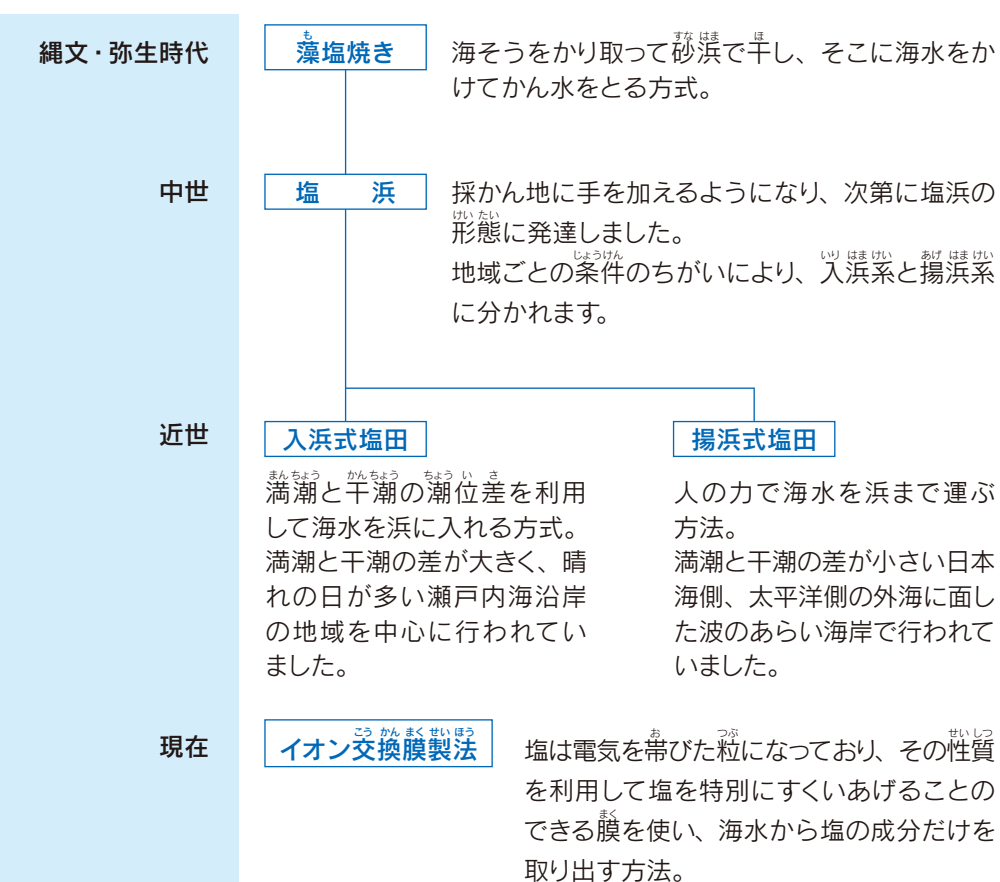
☆日本の塩づくりについて

日本は岩塩や塩湖がなく、雨が多いので天日塩にも向いていません。なので、昔から海水を利用して塩を作り出していました。この塩作りの方法は、現代でも変わっていません。

日本の塩作りは2つの工程からなっています。



☆日本の塩づくりの歴史(採かんの発達)



memo

4 に い はま 新居浜市の歴史

Chapter

4

西暦	時代	新居浜の主な出来事
1	縄文	新居浜に人が住み始める(横山遺跡)
100	弥生	158年 武国凝別命が東予をおさめる
200		
300		
400		
500		
600	奈良	各地で古墳がつくられる
700		
800		
809年		
900	平安	809年 郡が新居郡という名前になる
1000		
1100	鎌倉	1221年 金子広家が新居浜に来る
1200		
1300		
1400		
1500		
1600		
1700	江戸	1630年 立川銅山が開坑する
1691年		別子銅山が開坑する
1704年		深尾権太輔により多喜浜塩田の開発が始まる
1724年		塩田の経営開始
1762年	別子銅山と立川銅山が合併する	
1800	明治	1889年 新居浜が13の村になる
1900		1908年 新居浜町となる
1937年		新居浜町、金子村、高津村が合併して新居浜市ができる①
1939年	昭和	1939年 泉川村と角野が泉川町、角野町になる
1953年		大島村、多喜浜村、神郷村、垣生村が新居浜市と合併する②
1955年		船木村、泉川町、中萩町、大生院村が新居浜市と合併する③
1959年		角野町が新居浜市と合併する④



西暦	時代	新居浜の主な出来事
1900	昭和	1959年 多喜浜塩田が閉じられる 新居浜-大阪間に 航空路線就航⑤
		1962年 市民文化センター落成⑥
		1963年 多喜浜塩田跡にゴルフ場
		1970年 大阪万博に 大江・江口太鼓台が登場⑦
		1972年 市民プールオープン⑧
		1973年 別子銅山が閉山する
2000	平成	1994年 愛媛県総合科学博物館開館⑨
		2003年 別子山村と合併⑩
		2014年 塩の学習館完成
		2015年 あかがねミュージアム開館⑪
	令和	



年表に自分のことを書いてみよう!

あなたは何年生まれ?あなたの家族は何年生まれ?おじいちゃん、おばあちゃんは何年生まれかな?新居浜の年表に、自分に関わる歴史を書きこんでみよう。

新居浜、日本、世界の歴史はみんなのご先祖様が関わっています。そして、新居浜のすてきな未来の年表をあなたたちが作っていただく。

どんな未来が待っているかな?想像して書いてみよう。



5 たき はま 多喜浜塩田の歴史

Chapter

5・6

6 いり はま 入浜式塩田の仕組み

Chapter

7~9

7 多喜浜塩田を作り上げた人たちの名前は？



1704年、多喜浜の地を塩田にしようとはじめて開発に取り組みました。

はじめは全体を囲むような堤防を作ろうとしたが、台風でこわされるなど工事はなかなか思うように進みませんでした。

そして、工事を始めてから16年、13軒分の塩田がほとんどでき上がりましたが、病気になるてしまい、新しい塩田で塩を作ることがないまま、黒島の明正寺で亡くなりました。

ゆかりの地



明正寺

728年(神亀5年)に建てられました。初めの名前は西法寺でしたが、明正天皇の病気を治すためのおいのりをして、寺の名前を明正寺と変えるように命じられました。



1723年から工事ははじめ、11軒分の塩田を完成させ、塩づくりを開始。1733年にはさらに17軒の塩田を完成させました。

1732年に長雨や気温の低い日、害虫などにより、米の取れる量が減ってしまい、日本中で食べ物が足りなくなり、多くの人がなくなる「享保の大ききん」が起こりました。

かれはこのききを予想し、未然にひ害を防ぐことに成功しました。

ゆかりの地



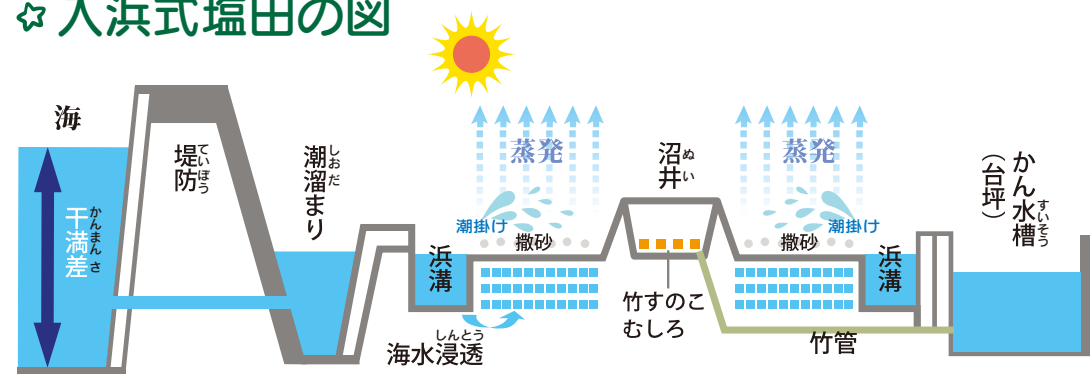
久貢屋敷

久貢屋敷は久貢山のもと、塩田が広がっていたところより一段高いところにあります。

塩田の開発をすることを記念して植えた、小さなソテツがあり大きく生長し、愛媛県の天然記念物になっています。

左：天野豊四郎 右：深尾権太郎

☆入浜式塩田の図



☆入浜式塩田の仕組み

海の浅いところをてい防で囲み、潮が満ちたり引いたりすることを利用して、塩田に海水を引き入れていました。

この方法は、江戸時代から昭和30年ごろまでつづきました。

☆うたづ海ホタルの紹介

宇多津臨海公園の中にある「うたづ海ホタル」では、入浜式塩田が復元されていて、当時の塩づくりを体験することができます。



復元された釜屋



沼井に濃い海水をかける



砂の上に海水をまく



☆ 入浜式塩田の作業と そこで使う道具を線でむすんでみよう!



沼井入鎌 ●



振り鎌 ●



あてこ ●



沼井堀鎌 ●



かけしやく ●



はまびき ●



おけ ●



もんだれ ●

沼井踏 ●



沼井堀 ●



配荷 ●



入鎌 ●



潮掛け ●



浜引き ●



振鎌 ●



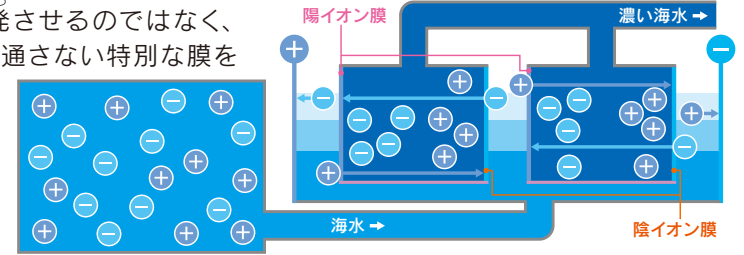
☆ 塩づくりの発展

長い間続いてきた入浜式塩田は、1954年ごろから作業が「流下式塩田」に変わってきました。しかしそのころから、化学製塩が進んだり、外国から安い塩が輸入されだしたりしたため、1959年に多喜浜塩田は閉じられました。

イオン交換膜製法

海水から水分を蒸発させるのではなく、水は通しますが、塩は通さない特別な膜を使い、海水から塩だけを取り出す方法です。

この方法がさかんになったため、塩田は必要なくなりました。



7

多喜浜公民館・多喜浜の人々の生活

☆ 多喜浜公民館

多喜浜公民館は、1956年に村役場から公民館として開館しました。

公民館の2階には、貴重な塩田資料が保存されている「塩田資料室」があります。

資料室には、当時の写真や資料、また使っていた塩づくりの道具などがいねいに保存されています。



多喜浜公民館外観



塩田資料室①



塩田資料室②

☆ 白浜銀座

白浜銀座は、旅館や劇場、病院、飲食店など、さまざまな施設がそろった通りです。

塩の売り買いもされていて、多喜浜の外からもたくさん人がきていました。

昔の子どもたちは、ちゃんばらごっこやかんけり、お手玉やおはじきなどで遊んでいました。

特に多喜浜は剣道がさかんで、岡城館というりっぱな道場があり、今でも剣道を教えているそうです。



当時の白浜銀座の思い出を語る



白浜銀座の復元模型



岡城館

8 多喜浜の塩の流通と植生

Chapter

12

☆ 昔の日本の海の流通

瀬戸内十州塩田でできた塩は消費地へ送られていました。

19世紀ごろ港から港へ人や荷物を運んでまわる船のことを「廻船」と呼んでいました。太平洋を船に乗って、江戸や大坂へ。

また北前船に乗って北国など、塩は船に乗り全国へ運ばれて行きました。

西まわり航路… 出羽の酒田から日本海側を南下し、瀬戸内海を通る航路。この航路を通る船は、北前船と呼ばれました。

南海路… 菱垣廻船・樽廻船など、江戸から大坂を通る航路。

東まわり航路… 出羽の酒田から太平洋を南下し、江戸へ向かう航路。



塩のほかに米・小麦なども運ばれていました。

尾州廻船… 内海船や野間廻船など、尾張の知多半島を拠点として、菱垣廻船や樽廻船の間をぬうように、瀬戸内～伊勢湾・江戸、上方～伊勢湾・江戸、あるいは、伊勢湾～江戸で活躍した廻船集団。

8 多喜浜に来ていたといわれる廻船は、以下の中でどこの船でしょう？

- ① 北前船
- ② 菱垣廻船
- ③ 野間廻船

答え()

☆ アッケシソウについて

アッケシソウは、塩分を多くふくむしつ地(塩しつ地)に育つアカザ科の植物です。

草の高さは10～30センチほどで、花も葉も目立たないためくさだけのように見えますが、そのくさが8月中旬ごろから赤くサンゴ色に変色し、一面赤いじゅうたんをしきつめたようになります。

この植物は明治24年に厚岸町の牡蠣島で発見され、その地名にちなみ北海道大学の宮部金吾博士がアッケシソウ(厚岸草)と命名しました。

その後、網走市のモヨロ貝づかの発見者で当時網走市立博物館の館長をしていた米村喜男衛さんが、秋の深紅色に染まるその姿がサンゴを思わせることからサンゴソウと呼ぶのがふさわしいと言ったことがきっかけとなり、サンゴソウという呼び方も広く知られるようになりました。(北海道HPより)

最近の遺伝子の研究で北海道のアッケシソウとはちがっているようで、なぜ新居浜にアッケシソウができるか、くわしいことはわかっていません。

しかし、多喜浜のアッケシソウは塩田の歴史と深く関わっていること、日本で一番南に生えていることから新居浜市の天然記念物となっています。



アッケシソウ



岡田家のアッケシソウ



秋のアッケシソウ

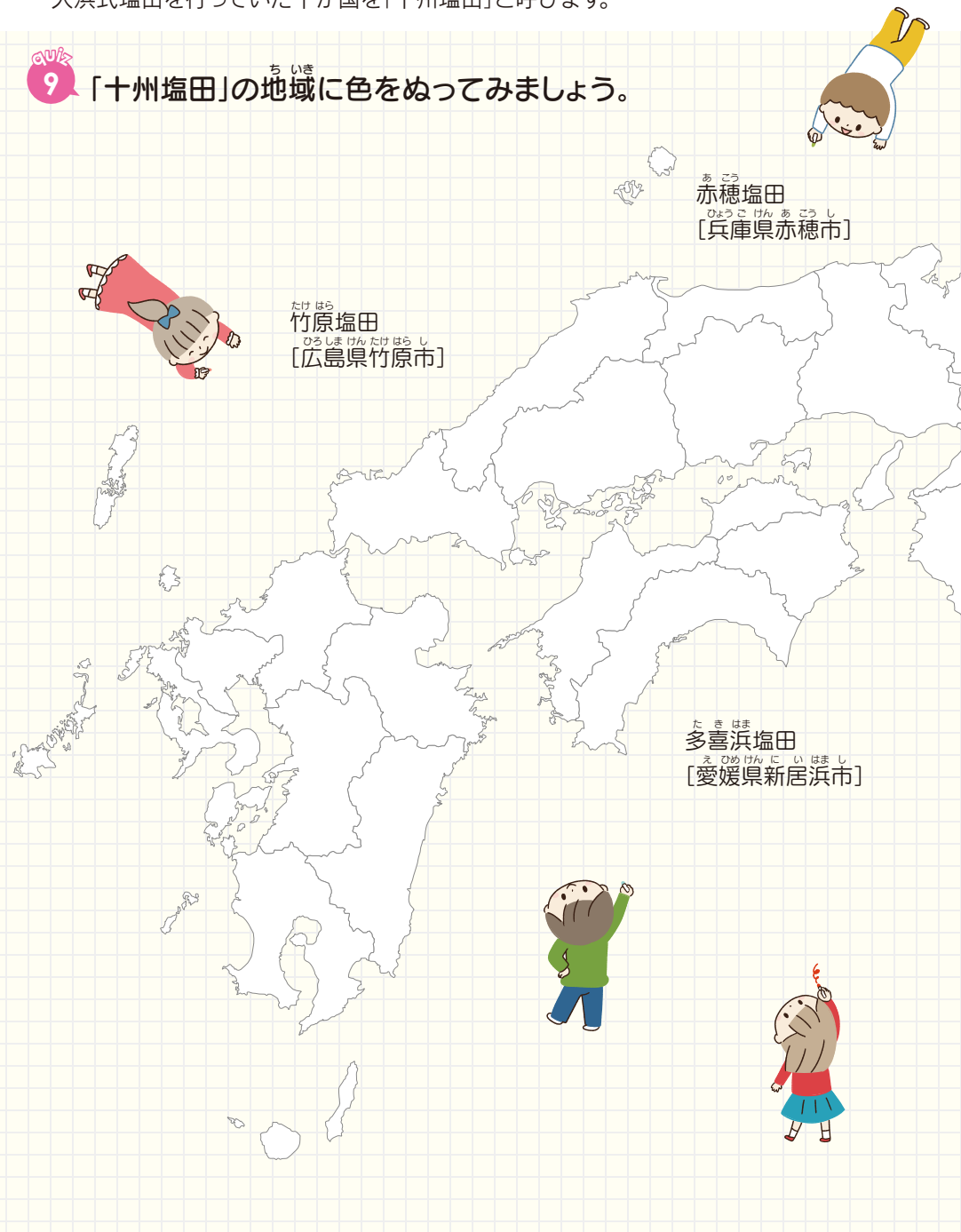
memo

9 瀬戸内海の塩田

入浜式塩田は、瀬戸内海沿岸の十か国(播磨・備前・備中・備後・安芸・周防・長門・阿波・讃岐・伊予)で大きく発展しました。

入浜式塩田を行っていた十か国を「十州塩田」と呼びます。

9 「十州塩田」の地域に色をぬってみましょう。



野崎浜(味野村沖新開・赤崎村沖新開)
[岡山県倉敷市]

塩田王・野崎武左衛門が開発した塩田。四十七町八反歩という大きな塩田を作りました。

★旧野崎家住宅

野崎武左衛門の邸宅。国の重要指定文化財になっています。野崎家の歴史や塩についても学ぶことができます。



旧野崎家住宅



宇多津浜塩田
[香川県綾歌郡宇多津町]

明治4年に150町歩にもなる塩田づくりがはじまり、明治31年には8つの塩田と5つの塩産会社がでそろい、宇多津の海岸線は塩田で埋め尽くされる程でした。

★うたづ海ホテル

入浜式塩田の製塩方法を今でも体験できる施設となっています。

うたづ海ホテル

伯方島の塩田
[愛媛県今治市]

伯方島には、北浦浜塩田、瀬戸浜塩田、古江浜塩田という3つの塩田がありました。

日本国内で昭和の時代まで残った塩田のうちの一つで、愛媛県内で最後まで残ったのが伯方島の塩田でした。

現在、塩田の跡地は養殖や特殊用塩を生産するために使われています。



伯方島塩田跡地

10 世界唯一の学校内塩田施設

Chapter

14

☆塩の学習館

多喜浜小学校の中には、多喜浜塩田や塩の作り方について学ぶことのできる「塩の学習館」があります。

ここでは、塩の作り方を体験することができます。



上：学習室
下：展示室

☆ソルティ多喜浜 (流下式塩田の設備)

実際に枝条架を見ながら、装置の仕組みの説明を聞く。



流下盤(黒く着色した鉄板の上に黒く細かい石をしきつめた装置)に海水を流す。



★塩の作り方



① 「かん水」を鍋にいれます。



② 火をつけて「かん水」を煮ます。



③ ふつとうしたら中火に。鍋のフタをはずし、スプーンで鍋の中の「かん水」をまぜます。



④ シャーベット状になったら、火を弱火にします。



⑤ 水分がなくなったら、火を止めます。余熱でさらにまぜます。



⑥ さらにさらになったらできあがり。鍋から塩を取り出して、紙の上におき、さします。

ポイント!
スプーンの背でまぜます

☆「塩の学習館」と「体育館」のデザイン

「塩の学習館」と多喜浜小学校の体育館には、多喜浜塩田の歴史を感じさせるデザインがされています。

★塩の学習館 外観



モニュメント
塩田の入れかえ土の山をイメージ



スロープ・看板 瀬戸内海のおだやかな波を表現



★体育館 外観



屋根

2つの屋根が重なって、瀬戸内海の波を表現しています。

入口の天井

竹が敷き詰められています。これは「かん水」をろ過するために沼井の底にしていたものを表現しています。



壁① 浜引きをしたときの砂の跡と浜引きをするときに使う道具をあらわしています。



壁② 集めた砂をいれる沼井。そのうえに塩の結しようわかる窓がはめこまれています。



★たきはま小水ぞくかんをつくろう

地元の海岸で集めた石ころなどを持って、あかがねミュージアムへ行き、愛媛県美術館の先生から石ころアートの手作り方を教わり、自分の興味のある海の生き物を制作した。

意欲的に取り組み、様々な海の生き物を完成させることができた。



★海の生きものをそだてよう!

海の生き物について、本を使ったり、愛媛県総合科学博物館の学芸員の先生に質問したりして、調べ活動を行った。

実際に海の生き物を1週間飼育し、生き物の生態や生育環境を知ることを通して、海の生き物への興味・関心を高めた。



★海からのおくりもの

近隣の漁港を訪問し、漁船や市場のセリの場所等を見学した。

また、漁具の一つ「底引き網」の仕組みや、実際に魚を加工・処理するところを目にするので、普段、食べている魚がどのように加工されているのを知り、海のめぐみについて実感することができた。



★「海のめぐみ塩づくり」隊

うたづ海ホテルへ行き、多喜浜でもかつて行われていた入浜式塩田作業を体験することで、塩作りや塩田の仕組み、当時の人々の苦労を知ることができた。

多喜浜塩田でも同じ仕組みで塩づくりが行われていたことを知り、塩田学習への意欲を高めることができた。

★多喜っ子海洋調査隊

実際に海岸に行き、海岸に流れ着くごみの量や種類について調べることを通して、マイクロプラスチック等、海洋ごみ問題についての理解を深めるとともに、問題の解決のために自分たちができることを考えた。

そして、自分たちでマイバッグ利用やリサイクルなどを呼びかけるポスターを作成し、地域のお店などに掲示してもらうよう活動する中で、海の環境保全の意識を高めることができた。



★地域の誇り多喜浜塩田再発見

多喜浜塩田の歴史を学んだり地域の方々のお話を聞いたりする活動を通して、地域のすばらしさやそれを支えてきた人々の思いを知ることができた。

また、学習した事柄を下級生に伝える活動を通して、児童一人一人に、地域の一員としての自覚を芽生えさせ、これからも地域を大切にしていきたいという心情を育てることができた。

★海っこ集会

本校で取り組んでいる海洋教育「海っこタイム」の総まとめとなる学習発表会を実施した。

コロナ感染防止対策のため、一学年ごとに録画し、後日教室で視聴した。

各学年で1年間学んできたことを劇や踊り(ソルティちゃん音頭)など工夫を凝らした楽しくわかりやすい発表を行い、学びを共有することができた。



海とともに未来へ

Chapter

15

この冊子と動画で新居浜、海、多喜浜塩田などについて学んできました。ここで振り返ってみましょう。

★驚いたことはなんですか？

★「海」について、この冊子や動画で知ったことはなんですか？

★「新居浜」について、この冊子や動画で知ったことはなんですか？

★「多喜浜塩田」について、どう思いましたか？

★これからあなたが「未来の新居浜」のためにやっていきたいこと、やった方がいいなと思うことを教えてください。

- <参考資料> 「たばこと塩の博物館 常設展示ガイドブック」(たばこと塩の博物館・平成27年)
「公益財団法人塩事業センター HP」
「塩のちから なぜ塩がないと人は生きられないか」(尾方昇・平成21年)
「塩の絵本」(編：高梨浩樹 絵：沢田としき・平成18年)
「令和2年漁業・養殖業生産統計」(農林水産省)
「2019年塩生産量」(World Minsral Production 2015-2019)
「えひめの記憶」(愛媛県生涯学習センター HP)
「多喜浜塩田遺産を活用した地域づくりの歩み」(新居浜市立多喜浜公民館・平成22年)
「多喜浜の昔を語る」(新居浜市立多喜浜公民館・平成15年)

- <資料提供> 新居浜市 市史編さん室
多喜浜公民館
多喜浜塩田資料館建設推進委員会
新居浜市立多喜浜小学校



海洋教育副読本

令和4年3月発行
編集・発行／新居浜市教育委員会
新居浜市海洋教育推進協議会
印刷・製本／東田印刷株式会社



この副読本は海洋教育パイオニアスクールプログラムの助成金により作成しました。